

留学先大学：SOAS, University of London
留学先での所属学部・研究科：
留学先での在籍身分：Japanese Exchange
留学期間：2015年7月～2016年6月
神戸大学での所属学部・研究科：文学部英米文学専修
学年（出発時）：4年
本報告書記入日：2015年10月24日

出発前

どのように情報を集めましたか。参考になる本やホームページがあれば、記入してください。

地球の歩き方（イギリス）去年留学していた先輩にお聞きした。ロンドン留学をしている方のブログをみたり、ロンドン留学を斡旋しているサイトを見た。

住居について

- ・住居のタイプ：大学寮 アパート ホストファミリー その他（具体的に）
- 住居（寮，アパート）の名前：Dinwiddy House
- ・部屋の種類：一人部屋 二人部屋 その他（具体的に）
- ・ルームメイト：現地学生 留学生（出身国：） その他（具体的に）
- ・どのように探しましたか。：大学の斡旋 自分で探した その他（具体的に）
- ・大学までの通学時間・手段：分，
- ・住居の周りの環境はどうですか。：

大きな駅が近いので交通手段に関しては不自由しないが、夜は安全ではない。

- ・毎日の食事はどうしていますか。：

基本的に自炊しています。

- ・住居は渡航前に、または渡航後すぐにみつかりましたか。トラブルはありませんでしたか。：

スタッフの対応が悪いので何度も伝える必要がある。

大学の授業について

1. 履修登録について

- ・履修登録の時期：出発前 到着後
- ・履修登録の方法：On-line International Office等の仲介 その他（具体的に）
- ・登録時に留学生として優先・配慮されることはありましたか。：無し 有り
- ・優先・配慮があった場合、具体的に教えてください。

日本語を話せる教授の方に質問する時間がある。

- ・希望通りの授業が履修できましたか。：はい いいえ
- ・希望通りの授業が履修できなかった場合、その理由を教えてください。

2. 現在までに、履修している授業について記入してください。

No.	コース名	教授名	時間数 /週	留学先 での単 位数	履修し ている 学生数	予習、復習、テスト等についてアドバイスも 含めて教えてください。
1	Introduction to social anthropology	Dr Caroline Osella	3	1	100?	毎週40ページ弱のリーディング 課題。
2	Memory and militarism on Japanese TV drama	Dr Andreas Kirsch	4	1	10	上に同じ
3	Post-war Japanese Cinema	Dr Marcos Canteno	4	0.5	25	上に同じ
4	Global Shakespeare	Dr Sarah Pett	2	1	25	毎週1作品読んでくる
5	Issues in Post-war Japanese society 2	Dr Andreas Kirsch	2	0.5	?	後期の授業なのでまだわかりかね ます
6						
7						
8						
9						
10						

3. 授業（カリキュラム等）について クラスのサイズ、成績評価、現地学生の取り組み等

一つの授業につきかならず10人弱の学生で行われるセミナーがある。そこでは教授はあまり関与せずリーディング課題についてや、講義について意見を話し合う。現地学生はモチベーションの高い学生が多い。講義でも人数が少ない授業はかなりセミナーに近く、学生の発言も多い。

一週間のスケジュール（授業時間、課外活動等、毎日の生活を記入してください。）

	月	火	水	木	金	土	日
8:00			reading 課 題		Anthropol ogy(1h)	reading 課題	reading 課題
9:00							
10:00	Anthropol ogy(2h)						
11:00	Global Shakespea re(2h)	Memory and militarism(4h)		Post-war Japanese Cinema(4h)			
12:00							
13:00							
14:00							
15:00							
16:00							
17:00							
18:00							
19:00							
20:00							
21:00							
22:00							

現在までの感想 自由に記入してください。（800字～）

私は正規コースを受講するためのIELTSの点数に達していなかったため、8weekのPre-sessional courseという英語コースを受けました。このコースでは10人ほどで午前2時間午後2時間大学に入ってからEssayの書き方やPresentationの作り方などを学びました。特に私は英語でEssayを書いた経験もPresentationをした経験もほとんどなかったため、8週間学んで得られたものは大きかったと思います。同じクラスの人たちはみんなMasterを受けるために学んでいて、アジア人が多かったですが、みんなで乗り越えようという気持ちが強かったので、友人がたくさんできました。Pre-sessionalが終わってからも支え合える友人ができたことも本当によかったと思います。そして正規コースが始まってからは本当に課題も多く時間がなくなるので、早く渡英してロンドンになれることができることよかったです。正規コースでは、講義によっては留学生が一人もおらずセミナーについていくのがとても大変なこともあります。他の学生の意見を聞くこともとても刺激的であり日本では出会えないような様々なバックグラウンドを持っている人たちと一緒に講義を受けられるのも楽しいです。リーディング課題は授業ごとに信じられないくらいの量がでますし、Essay課題も多いです。Essayを書くためにたくさん文献を探して読まなければなりません。どれも興味深いです。続いて生活について書きます。ロンドンでは外食しようと思うと物価がとても高いので基本的に日本の2倍かかってしまいますが、自炊をすれば日本と同じ、または安く済ませることができます。また、ロンドンには日本食のレストランがいたるところにありますし、日本食を販売しているスーパーもあるので日本食が食べられないということはないです。わたしがロンドンで素晴らしいと思うところは芸術や、学生を応援する雰囲気です。大きな美術館や博物館はほとんど寄付制なので無料で入ることができますし、レストランから服屋、文房具、本屋さんまであらゆるところで学生割引が適用できます。そしてロンドンで暮らしていると様々な言語が飛び交っていることを感じることができます。わたしはロンドンもSOASもとても気に入っているのもし留学を迷っている方がいましたら、是非おすすめしたいと思います。